

事業所名		エール			支援プログラム			作成日		令和8 年		1 月		30 日	
法人（事業所）理念		こどもたちの人権を守り、その意思を尊重し、感性をいっそう輝けるものとするとともに、共生空間を実現していくことを目指します。													
支援方針		こどもたちが社会の中で自分らしく生きていけるように、一人でできることを増やし、自信をもって共に生活する力を育みます。そのために、個別の生活支援や学習支援を行うとともに、多様な遊びや体験活動の機会を提供することにより、こども一人一人の成長につながるような適切な支援の仕方を常に考えていきます。また、ご家族の相談援助や関係機関との連携を行い、こどもたちの健やかな成長を願って、総合的な支援を行うことを目指します。													
営業時間		9		時		0 分から		18 時		0 分まで		送迎実施の有無		あり 通常営業時：学校、学校指定バス停までの迎え ※保護者の事情によって家までの送りあり	
		支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	・来所時に心身の健康状態を確認し、必要に応じた対応を行います。 ・基本的な生活習慣や健康について学ぶ場を設定したり、生活や遊びの場で必要な力を身に付けられるように援助したりしながら、基本的な生活スキルが向上できるように指導・援助します。 ・生活の流れや活動を個別のスケジュール表を作って説明し、見通しをもって不安なく過ごすことができるようにします。													
	運動・感覚	・視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分に活用し、指先の動きをコントロールする力を付けることができるように、多様な材料を用いた制作活動や遊びを提供します。 ・多様な遊びや運動、ダンスなどの体を動かす活動を提供し、身体機能の維持、向上を図ります。													
	認知・行動	・一日の過ごし方を確認したり、活動時間を自分で決めたりすることで、時間の意識や経過を感じられるように支援します。 ・宿題や個々のドリル学習などには、個別に支援します。 ・屋外での活動や植物の栽培活動、季節の壁面飾りの制作を通して、季節の変化への興味などの感性を育てていきます。													
	言語・コミュニケーション	・仲間と関わる体験や遊びを通して、体験的に言語の習得ができるように支援します。 ・宿題や個別のドリル学習などの活用、絵本の読み聞かせなどを通して、ひらがな・カタカナ・漢字の読み書き能力や語彙力を身に付けることができるように支援します。 ・小集団の遊びを通して、相手の意図を理解したり自分の考えを伝えたりするなど、言語によるコミュニケーション力が伸びるよう支援します。													
	人間関係・社会性	・あいさつや場に応じた話し方が自然にできるように、職員が継続的に関わり、個々の意識を高めていきます。 ・遊びや集団活動（ゲーム・昼食やおやつ作り活動）を通して、ルールや順番を守ることや協調した関わりをもてるように支援します。 ・日常生活での困りごと・人間関係のトラブルを解決するために振り返りや、ソーシャルスキルトレーニングを行います。													
家族支援		・こどもの様子をHUGでお知らせします。 ・日常的にこどもに関する情報を共有し、発達上の課題について互いに理解しながら、連携して支援に取り組みます。 ・定期的に面談を行い、本人支援の課題について話し合う機会をもちます。						移行支援		・必要に応じて学校と連絡を取り合い、協力して支援にあたります。 ・進学、進級に向けての情報提供や関係機関との連携など、個に応じて必要な支援を行います。 ・他の放デイと併用している場合には、こどもの状態や支援内容を共有して、よりよい支援の仕方を検討します。					
地域支援・地域連携		・相談事業所と連携し、情報交換を通してよりよい支援を目指します。 ・地域の児童館や公園を活用し、交流の場を設定します。						職員の質の向上		・支援会議を行い、支援の仕方を検討する場を設けます。 ・安全管理、虐待防止、感染対策等の職員研修会を実施します。					
主な行事等		保護者会・親子夏祭り・作品展・バス遠足・避難訓練・他デイとの交流会などを行います。詳細は、年間活動プログラムにまとめてあります。													